

### 【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について  
40 歳位 体格がいい 顎ひげあり 日本語は多分知らない
2. 通訳ガイド(以下 TG)について  
35 歳位 細身 眼鏡 鋭い印象

### 【面接試験の実際】

試験官は逆光のためこちらから細かい様子が解らない。こちら側の椅子は 3 脚、一つに荷物を置き、真ん中に座り、左にメモとボールペン二本。あとで回収される。プレゼンもこのメモを使っていいと言われる。

#### 1. 通訳試験について

TG	通訳文を普通の速さで読む。一分で訳すように指示。
I	通訳文を読むスピードが早かったため、しっかりとメモが取れず。 「東京の秋葉原は、有名な電気店街で、600店舗位あり、メイドカフェ、日本だけでなく世界中でも有名です。」と言った。

#### 2. 2 分間プレゼンテーションについて

TG	プレゼンは 3 つのプラカードを渡し、選んだものの題名を英語でいうように指示。  30 秒考える時間。
I	一番上にあった「日本の宗教」に決める。他の二つについては忘れてしまった。地名とか時代名でなく、抽象的な題名でこれはまとめきれないなどだけ覚えている。
TG	一分過ぎたら合図をしますとのこと。  神道と仏教、二つの宗教が日本では生活の中に普通に溶け込んでいることを述べる。意外と一分の合図が早く、焦る。

#### 3. 質疑応答について

NS	「私の話の、日本人が重点を置く practices and rites とは何ですか？」
I	誕生のお祝いは神道でお葬式は仏教という。
NS	「結婚式は？」
I	キリスト教が多いという。

NS	神社とお寺の見分け方は？
I	神社には入口に鳥居があり、お寺は屋根の造りに特徴があるという。
NS/TG	二人が目で合図して、終わり。

**【試験を終えて】**

終わってぐったりでした。できたのかできなかったのかわかりません。一応英語らしきもので話したのでネイティブがどう判定するかと思っています。

9：30に会場につき、11：30～40が試験、解散が12：10でした。この間集中力を維持するのはとても大変なことでした。これが実際受けてみて初めて分かったことだと思います。